

# 年金カット法は廃止して、 安心年金つくろう！

## 年金カット法は廃止！

2016年末、年金受給額をどんどん下げることができる年金カット法案が、安倍政権により強行可決成立しました。

現在でも年金受給者の実態は、約40%が月10万円以下の年金しか受給していません。そのためやむなく働かざるを得ない高齢者は先進諸国の中でも多く、年金の削減はまさに高齢者の命を削ることとなります。年金カット法案の実施は2021年4月からです。「実施をさせない」声を上げましょう。

140兆円をこえる積立金は私たちの財産！株に投資せず、年金改善のために使うべき！



年金積立金が株式市場に流されている (2016年3月末)

	2016年3月末の構成割合 (%)	2013年3月末の構成割合 (%)
国内債券	39.2	61.8
市場運用	36.6	53.0
財投資(簿価)	2.6	8.9
国内株式	22.7	14.6
外国債券	14.1	9.8
外国株式	23.0	12.4
短期資産	1.0	1.5
合計	100.0	100.0

資料: GPIF「業務概況書」(2015年度より)

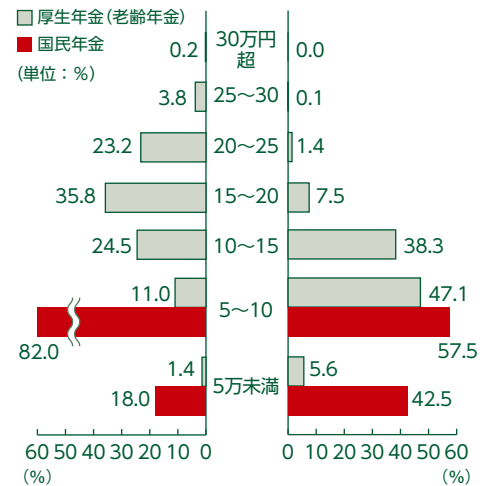
## 年金支給年齢の引き延ばしはさせない

1月5日に日本老年学会が「高齢者は75歳から」とする提言を行いました。年金の支給年齢引き上げを促す材料に用いられると懸念する声が上がっています。政府は、公的年金支給開始年齢をさらに引き上げる考えを示しています。

## 若者や非正規が信頼し安心できる年金制度に

老後の生活の基礎的な支えとなり、高齢世代も現役世代も信頼できる年金制度を構築することは急務です。低年金の底上げと最低保障年金の導入、現役世代の雇用・賃金の立て直しによる年金財政の強化など本当の改革が求められています。

厚生年金・国民年金受給月額額の分布 (男子) (女子)



(注) 厚生年金(老齢年金)・国民年金のそれぞれについて、2014年度末における受給月額階層ごとの受給者数の比率

資料: 厚生労働省「厚生年金・国民年金事業年報」(2014年度版)

## くらしを支える毎月支給へ

現在、年金は2カ月まとめて、後払いで支給されます。くらしにかかる経費は毎月支払いが必要です。年金支給は毎月行うべきです。

若いときから年金の保険料を払い、生活設計をしてきた。「年齢が来たらこれだけ払う」と言って掛け金を払わせ、いざもう年齢に達したら「あの約束は守れません」と言うのであれば、何を頼りに生きていけばいいのか。

年金が下がり、介護保険料、医療費、物価と消費税が上がっています。現在は足腰が悪く病院通いで働くことができません。



全日本年金者組合年金裁判違憲訴訟陳述集  
「とどろけ心の叫び」から